

- 読谷村においては、森林の公益的機能を維持・増進させる目的で、既存の森林生態系を脅かす特定外来植物である「ツルヒヨドリ」の防除作業を実施。
- 令和元年度は、村単独費で分布確認を行ったうえで、森林環境譲与税を活用して駆除作業の委託業務を行った。
- 令和2年度においては、森林環境譲与税を活用して、以下の取組を行った。
 - ・ 令和元年度で完全に駆除されたかモニタリングを実施。
 - ・ 分布調査及び駆除作業を実施。

□ 事業内容

1 文化財維持管理業務

- ・ 令和元年度に行った分布調査を基に、森林に脅威をもたらしているツルヒヨドリについて譲与税を用い、駆除作業を実施。

【事業費】 6,853千円（うち譲与税3,490千円）

【実績】 座喜味城跡史跡内44,193㎡内において、約700㎡の範囲で駆除を行った。



（駆除作業の様子）



（駆除作業の様子）

□ 事業スキーム

森林環境譲与税を活用して、村直営で実施。

□ 工夫・留意した点

- ・ 前年度に行った分布調査やモニタリングの結果を基に、範囲を広げて確認を行った。
- ・ 継続してモニタリングを行い、ツルヒヨドリが新たに発芽していないか等、注視しながら駆除作業を行った。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	3,490千円
②私有林人工林面積	1.30ha
③林野率	24.7%
④人口	39,504人
⑤林業就業者数	3人

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算調査

都道府県名	市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果
				(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）			
沖縄県	読谷村	⑤ 森林保護対策	文化財維持管理事業	6,853	3,490	0	3,363	前年度、特定外来植物のツルヒヨドリが、世界遺産である座喜味城跡史跡内に確認された。景観保全の観点から、前年度に引き続き防除作業を実施した。	防除面積約700㎡	<p>【ワンフレーズ】 税活用により、前年度から継続して、ツルヒヨドリの除去を約700㎡の範囲で実施することができ、森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。</p> <p>【詳細】 本村では、森林区域において特定外来植物「ツルヒヨドリ」が確認されたことから、前年度から本税をツルヒヨドリ防除に活用し、高度公益機能森林の保全を推進することとして取り組んでいる。 結果、約700㎡の範囲でツルヒヨドリを除去することができ、森林保全が図られた。前年度確認された箇所でも新芽等が発見されたり、新たに確認された箇所があったりとツルヒヨドリの生息域の多様性が見られたこともあり、今後もモニタリングや防除作業を実施するとともに森林保全のため維持管理に努める。</p>